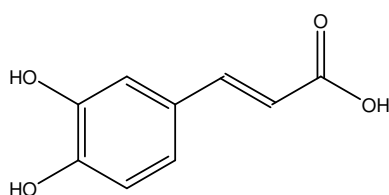


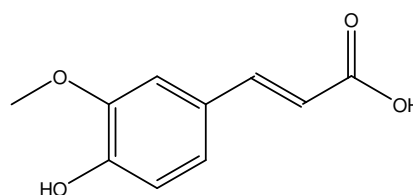
カフェ酸、フェルラ酸

Caffeic acid, Ferulic acid

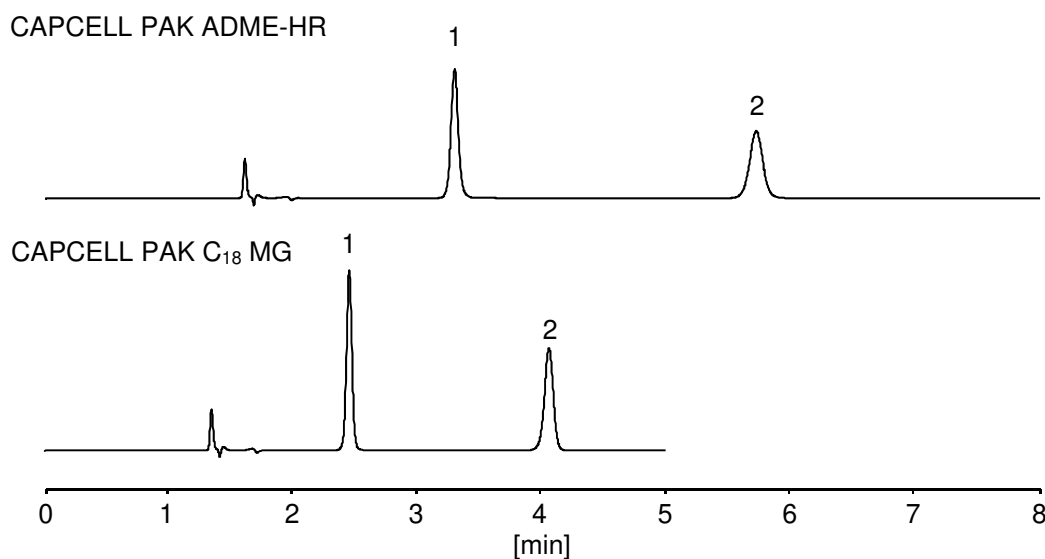
カフェ酸、フェルラ酸は優れた血圧降下作用をもつケイ皮酸誘導体です。その効果を期待して特定保健用食品のコーヒー飲料には、これらの化合物とキナ酸とのエステル体が有効成分として含まれています。ここでは CAPCELL PAK ADME-HR S5 及び CAPCELL PAK C₁₈ MG S5 (4.6 mm i.d. x 150 mm) を用いて酸性条件下で分析した例を示します。どちらのカラムも充分な保持と分離が得られていますが、特に親水性の置換基をもつ化合物の保持に有効な ADME カラムは、一般的な C₁₈ カラムよりも大きな保持力を示しています。



1. カフェ酸 (100 µg/mL)
Caffeic acid (M.W. 180.2)



2. フェルラ酸 (100 µg/mL)
Ferulic acid (M.W. 194.2)



【HPLC Conditions】

Column size	: S5 ; 4.6 mm i.d. x 150 mm
Mobile phase	: 0.1 vol% H ₃ PO ₄ / CH ₃ CN = 75 / 25
Flow rate	: 1 mL/min
Temperature	: 40 °C
Detection	: UV 220 nm
Inj. vol.	: 5 µL
Sample dissolved in	: CH ₃ OH
	※ 1 µg/mL = 1 ppm